

### 研究成果

---

杉山が科研費基盤Cで実施している中谷宇吉郎の科学啓蒙家としての側面を歴史的文脈に位置付ける調査研究は最終年度となり、中間報告書を作成するとともに、ミネルヴァ書房から『中谷宇吉郎：人の役に立つ研究をせよ』を上梓した。また、日本の科学技術社会論の中心的論者と共に、Springerから『Lessons from Fukushima』を上梓した。川本が実施していた、地域と連携した科学教育をテーマとした科研若手Bと、企業や行政と連携した社会技術開発をテーマとした科研基盤Bは最終年度となった。それらの知見を活かし、JSPS領域開拓プログラムで新たな研究に取り組んでいる。また、海外の科学技術コミュニケーションの教科書を協働翻訳者と共に翻訳した。さらに、杉山の中谷宇吉郎研究を一つの基盤とし、現在の大学等研究機関における軍事研究（デュアルユース研究）の諸問題を検討する研究を開始し、学会発表を行った。